

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 必ず入力してください （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)自立する力と思いやりの心を育みます 2)知育・徳育・食育を柱にした保育を行います 3)知育（考える子） さまざまな経験を通じて、自己表現の向上を目指し、他の子ども達とのコミュニケーションの中で、自己主張や協調性を身につける保育を行います 4)徳育（心の優しい子） 愛されて育つ、愛する心を育む一人ひとりの子が愛されている実感を持てる保育、そして人に対する愛情や信頼や思いやりを持てる保育を実践します 5)食育（食を楽しめる子） 私たちは食事にこだわります。個々の特性を把握し、適切な食事提供にこだわります
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 必ず入力してください
	素直であること、向上心があること、を採用の基準としております。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 必ず入力してください
	保育士は専門職であるため「プロ」であるという意識を持ってほしいと思っております。また職責に応じた役割を理解し、その上で職員同士連携して業務に当たってほしいと考えております。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	当保育園を利用している保護者全数	
調査方法	アンケート方式で実施した	
	利用者総数	19
	利用者家族総数（世帯）	19
	共通評価項目による調査対象者数	19
	共通評価項目による調査の有効回答者数	13
	利用者総数に対する回答者割合（％）	68

利用者調査全体のコメント

総合的な評価については「大変満足」が46%、「満足」が54%で100%が満足している結果となった。また、17の項目のうち、全員が「はい」と回答した項目が「保育所での活動は子どもの心身の発達に役立っていると思うか」など5項目あり、全体としての満足度が高いことがうかがえる。一方で、一番「はい」のパーセンテージが低い項目が「外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか」という項目であった。入園時に説明しているが、折に触れ説明することを検討してもよいと思われる。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	13	0	0	0
回答者全員が「はい」と答えており満足度が高い項目となっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	13	0	0	0
項目1と同じく回答者全員が「はい」と回答している。手遊びやダンス、粘土、絵の具などを楽しんでいるというコメントが見られた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	11	2	0	0
「はい」という回答が85%、「どちらともいえない」が15%であった。食事についても満足度が高いと言える。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	10	2	0	1
「はい」が77%、「どちらともいえない」が15%、「非該当・未記入」が8%であった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	4	1	1
「はい」が54%、「どちらともいえない」が31%、「いいえ」「非該当・未記入」が各8%であった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	10	3	0	0
「はい」が77%、「どちらともいえない」が23%という結果であった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	7	5	1	0
「はい」が54%、「どちらともいえない」が38%、「いいえ」が8%であった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	13	0	0	0
「はい」が100%であり、満足度が高い。自由意見にも担任に色々話せるとのコメントがあった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	13	0	0	0
回答者全員が「はい」と答えており満足度が高い項目となっている。園内は適切に清掃されていると思われる。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	11	1	1	0
「はい」が85%、「どちらともいえない」「いいえ」が各8%という結果であった。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	0	0	0
「はい」が100%で、保護者の信頼が厚いことがうかがえる。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	10	0	0	3
「はい」が77%、「非該当・未記入」が23%であった。「いじめがないと思う」というコメントもあり、そのような経験がないという保護者が「非該当・未記入」にしたと思われる。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	12	1	0	0
「はい」が92%と満足度が高く、「子どもが安心している」とのコメントも見られた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	10	2	1	0
「はい」が77%、「どちらともいえない」が15%、「いいえ」が8%であった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	12	1	0	0
「はい」が92%、「どちらともいえない」が8%で満足度が高い。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	7	3	0	3
「はい」が54%、「どちらともいえない」が23%、「非該当・未記入」が23%であった。不満や要望を伝えたことがないという保護者が「非該当・未記入」にしたと思われる。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	6	2	2	2
「はい」が46%と全項目中で一番「はい」のパーセンテージが低かった。「園のしおり」にも明記しており、説明もしているが、折に触れ伝えることも必要かと思われる。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリ－１～５、７）

No	共通評価項目	
1	カテゴリ－１	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ－１（１－１）	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1	
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	評価項目 2	
	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	評価項目 3	
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
カテゴリ－１の講評		
カテゴリ－１の講評を入力してください		
園の保育理念や保育目標が明文化され、ホームページやパンフレットなどに明示するとともに園内に掲示している。職員は本部が行う入社前研修で保育園の理念や会社の方針などの理解に努め、社内研修でも保育士一人ひとりが理念をどのように捉えて保育に活かすかなど、グループで話し合い発表している。保護者には入園前説明会で「園のしおり」をもとに理念や保育目標などを説明し、実践面は園だよりで伝えている。また、職員会議では決定事項等の周知や確認をしており、参加していない職員には翌日伝えたり会議録を見てもらっている。なお、職員に内容が十分伝わっていない部分もあると思われる。職員の経験やスキルもさまざまであり、より丁寧な説明が望まれる。		

2	カテゴリー 2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1 (2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (6)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2 (2-2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (0)		
評価	標準項目		
○あり ●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当	
○あり ●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当	
○あり ●なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当	
評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (2)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当	
カテゴリー 2 の講評 カテゴリー 2 の講評を入力してください			
保護者の意向は夏祭りや運動会などの行事や保護者会の実施後に行うアンケートで把握に努めている。職員意見は職員会議や年 3 回の面談で聞きとり、地域のニーズは区のホームページや入園相談を受けるなかで把握に努めている。会社の園長会でも保育行政の動向などの情報を得ている。園の計画としては「全体的な計画」のほか、研修や行事、避難訓練などの年間計画が策定されている。また、年度初めには役割分担を決めており、担当や係が中心になり業務を推進している。なお、園として単年度の事業計画を策定し取り組むことも検討されたい。			

カテゴリー 3

経営における社会的責任

サブカテゴリー 1 (3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点 (2)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー 2 (3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点 (2)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目 2

虐待に対し組織的な防振対策と対応している

評点 (2)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー 3 (3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点 (2)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目 2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点 (3)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、	○非該当

	施設長会など) に参画している		
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当
カテゴリー 3 の講評		カテゴリー 3 の講評を入力してください	
社員として遵守すべき服務規程などは入社前説明会で周知し誓約書を取り交わしている。中途採用の職員もいることから園内研修も行い説明している。また、職員には接遇やマナーなどが記載された「職員マニュアル」を配布し徹底を図っている。保育では子どもを呼び捨てにしないことや、子どもを傷つける言葉にも注意しており、職員会議で話し合い振り返っている。苦情等の相談・解決体制も園のしおりに載せ入園前説明会で伝えるほか園内にも掲示をしている。保護者の意向は送迎時に聞いたり連絡帳やアンケートなどで把握に努め、出された要望や意見は迅速に対応している。とくに、送迎時はルームにまで入ってもらい丁寧にに対応することに心掛けている。情報発信にも工夫が見られ、ツイッターを活用し日々の保育を写真入りで保護者に提供している。地域との連携として、地域向けの入園見学会を行ったり園で育児の相談に乗っている。園はさらに地域との関りを深めたいとしており、今後の取り組みに期待したい。			
4	カテゴリー 4		
リスクマネジメント			
サブカテゴリー 1 (4-1)			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (3)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当	
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当	
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当	
○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当	
サブカテゴリー 2 (4-2)			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (4)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	

カテゴリー4の講評

カテゴリー4の講評を入力してください

アレルギー対応マニュアルや衛生管理マニュアルなどリスクに対するマニュアルを整備している。防災に関しては消防計画を策定し、年間計画のもと地震や火災、不審者などを想定し毎月避難訓練を実施し、感染症については保健だよりなどで保護者に注意を喚起し、発生した場合は掲示などで周知を図るとともに対策を講じている。ヒヤリハットや事故は記録に残しその場で共有を図り職員会議で対策を話し合うほか、事故は会社の園長会でも共有され事故防止に活かされている。なお、ヒヤリハットはできるだけ多く収集し話し合うとよいと思われる。個人情報保護方針は入職時に職員に説明し誓約書を取り交わし、保護者には入園説明会で周知し第三者への提供や写真の掲載などは同意書をもっている。重要書類は鍵のかかる保管庫で管理し持ち出し厳禁とし、パソコンはパスワードでアクセスに制限をかけている。

カテゴリー 5

職員と組織の能力向上

サブカテゴリー 1 (5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する
人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点 (2)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目 2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点 (0)

評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目 3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点 (4)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目 4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点 (4)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ 2 (5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点 (3)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリ 5 の講評 カテゴリ 5 の講評を入力してください 研修体制が整備されており本社研修では年次別研修、歳児別の担当者研修、職種別研修など職員に多様な学ぶ機会を提供している。研修受講後はレポートを書いてもらうとともに職員会議で報告し共有を図っている。職員一人ひとりの育成を図るため、自己評価表をもとに年 3 回の面談で助言したり、個別の研修計画のもとと外部研修に職員を派遣している。また、職員の意欲向上に向けて有給休暇の取得促進や、休憩時間は園児と離れて休息が取れるようにしたり、社長が各園を回り職員に声掛けするなど、コミュニケーションを大切にしたい働きやすい職場づくりに取り組んでいる。なお、研修については職員の意向も取り入れて計画を立案することが期待される。		
7	カテゴリ 7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動		
サブカテゴリ 1 (7-1)		
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている		
評価項目 1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その 1)		
前年度の重要課題に対する組織的な活動 (評価機関によるまとめ)		
昨年は園開設の初年度であり理念の解釈や保育の方向性の統一を重点目標として掲げた。職員間で共通認識を図るため、午睡時の会議ではクラスで話し合う時間を確保したり、職員会議の進め方を見直し、栄養士が参加する場合は昼にするなど改善に取り組んだ。		
目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった	
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった (目標設定を行っていなかった場合も含む) ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評		
会議を工夫したことで話し合いも充実し職員間の意思統一が図られている。また、園だよりでのクラスのコメントや、会議でクラスの様子を話し合うなかで、子どもへの向き合う方向も明確となりつつある。今年度、新入社員の入職もあり理念や目標を読み解いたり、保育実践について話し合う時間を多く取っている。前年度の取り組みを活かしていることがうかがえる。		

評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）	
前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
安全な保育環境の確保を重点課題とし、設備の改善を重点目標として取り組んだ。大きな改修として、建物の大家に許可を得て門扉を取り付けたり防犯カメラを設置した。門扉を付けたことで夏には玄関脇でプール遊びも可能になり、防犯カメラの設置は保護者や職員の安心感につながっている。	
目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
門扉を取り付けたり防犯カメラの設置など安全な保育環境の確保に取り組んだ。次年度については災害や保健等のマニュアルを見直し、災害や感染症や事故に対応できるようにしたいとしており、今後の取り組みに期待したい。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリ 6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目				
1	サブカテゴリ 1				
	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況			
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している				
	評点 (4)				
	評価	標準項目			
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当		
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当		
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当		
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当		
	サブカテゴリ 1 の講評				
	サブカテゴリ 1 の講評を入力してください				
	パンフレットの他、ホームページには園概要やデイリープログラム、運営会社の紹介などを掲載しており、ホームページと連動したツイッターには季節の行事等、保育の様子を写真入で分かりやすく紹介している。見学の希望は個別に話を聞いて対応し、見学は主に夕方16:30からを勧めるなど、現在利用している子どもにも負担とならないよう配慮している。				
2	サブカテゴリ 2				
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況			
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている				
	評点 (3)				
	評価	標準項目			
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当		
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当		
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当		
	評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている				
	評点 (3)				
	評価	標準項目			
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当		
	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当		
	●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当		
	サブカテゴリ 2 の講評				
	サブカテゴリ 2 の講評を入力してください				
	入園時の保護者説明会で「入園のしおり」をもとに重要事項を説明している。外国籍の保護者には特に、口頭で分かりやすく丁寧に説明している。入園のしおりには、保育理念や保育目標、家庭と保育園の役割、健康管理、感染症について、緊急時の対応について、関係機関の案内等を詳細に記載している。また、気になることやアレルギー等についても個人面談で確認している。慣らし保育は、年齢や月齢など一人ひとりの状況に合わせながら4日を目途におこなっており、初日は給食を食べるまでの時間を親と一緒に過ごすことから始め、次はお昼寝まで、おやつまでと徐々に時間を延ばしている。保育者は一対一での関わりを心がけ、子どもが慣れるように配慮している。				

個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、
子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点（ 3 ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目 2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点（ 5 ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目 3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点（ 2 ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目 4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している

評点（ 2 ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー 3 の講評

サブカテゴリー 3 の講評を入力してください

日々の子どもの様子は、連絡帳や朝保護者から聞いた情報を受け入れ表に記録し、その日担当職員で話し合った内容は日誌に記録している。全体の計画をもとにクラス別の年間指導計画及び月案を作成しており、月案はクラスで月末に振り返りを行い次月につなげている。月案から週案へおろす時も子どもの状況と照らし合せながら作成している。指導計画は、年 2 回の保護者会で説明し、毎月の園だよりでも先月の様子や今月のねらいを載せるなど保護者へ分かりやすく伝え、週の予定もクラスにボードで示されている。個別計画は、保護者の意向を迎え時や土曜日等を使って確認し、健診の医師の意見も取り入れて作成、見直ししている。職員間の子どもの情報共有は、朝の受け入れ表や引継ぎノートで行い、早番から遅番へは引継ぎノートをもとに口頭で確実に伝えるようにしている。毎月の職員会議でも気になる子どもについて共有している。

5	サブカテゴリー 5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1		
	子どものプライバシー保護を徹底している		評点 (2)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点 (3)
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー 5 の講評			サブカテゴリー 5 の講評を入力してください
入園時に、個人情報保護方針と個人情報の利用目的を文書で説明し同意書をもっている。行事は保護者に写真撮影制限の協力を依頼している。保護者の要望もあり、園で撮った写真はインターネットを介して購入できるようにした。また、遊びや食事、睡眠等子ども一人ひとりのやりたい気持ちを尊重し、できるだけ個別対応している。子どもの羞恥心については、トイレやオムツ替え、プール時の着替え等、子どもの安心感と安全にも配慮しつつ行っている。保護者の価値観や考えに添えるよう、宗教的食事の希望等にも個別に対応している。			
6	サブカテゴリー 6		
	事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1		
	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点 (3)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点 (2)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリー 6 の講評			サブカテゴリー 6 の講評を入力してください
マニュアル等は、運営会社が作成したものを基本に、事業所に合わせて手直ししている。マニュアルは、今年度職員全員で読み合わせを行い、共通理解に努めている。また、年度末に職員による見直しも行っている。アレルギー反応救急要請や119番通報については、電話機そばに掲示し、緊急時に即対応できるようにしている。今年度より、保護者に対して行事後にアンケートで意見等をもらうようにしており、反映したいと考えている。			

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4																				
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況																		
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている 評点（ 5 ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table> 評価項目 1 の講評 評価項目 1 の講評を入力してください 子どもの家庭での様子などについては、送迎時に保護者に声掛けをして聞きとったり、連絡帳などで把握に努めている。発達の過程については日常の保育の中でよく子どもを観察して、健康状態（排便・排泄・体温等）や食事摂取状況、生活や遊びの様子を保育日誌に記録し、共有しながら適切な保育に取り組んでいる。子ども同士のトラブルはお互いの気持ちを受け止め、双方の気持ちを代弁しながら対応している。特に、かみついた子どもには相手が痛い思いをしていることを職員が代弁して伝えている。けんか・かみつぎがあった場合は保護者に状況を丁寧に伝えている。	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当																		
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当																		
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当																		
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当																		
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当																		
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点（ 4 ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table> 評価項目 2 の講評 評価項目 2 の講評を入力してください 登園時に家庭での子どもの様子（睡眠・食事・体温・事項）を連絡帳や、職員による視診などで保護者と確認している。排泄やトイレトレーニングは無理のないように声掛けし、子どもの気持ちを考えながら見守っている。生活習慣や生活リズムを整えることの大切さについては保護者会や個別にも伝えている。午睡は子どもの状態に合わせて柔軟に対応するようにしており、乳幼児突然死症候群発生予防や体調急変に対応するため「睡眠チェック表」で0歳児は5分おき、1歳児2歳児は10分おきに記録している。降園時はできる限り保護者一人ひとりに、その日の子どもの様子を担任が直接伝えるようにしている。	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当				
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当																		
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当																		
●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当																		
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当																		

3	評価項目 3			
	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点 (6)	
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当	
	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	
	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	
	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	
	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当		
評価項目 3 の講評			評価項目 3 の講評を入力してください	
職員は、子ども一人ひとりが園で安定した気持ちで過ごせるように努めており、一人ずつじっくり膝の上で絵本を読んだり、時には数人の子どもに読み聞かせをするなど、いろいろな関わり方をしている。建物の構造上園庭がないため、雨以外は数か所の散歩コースから年齢に合わせて散歩に出かけ、身近な物や季節の変化などに興味や好奇心を持てるような援助に心がけたり、部屋の中にテーブルや牛乳パックでコーナーを作り、子どもが自主的に遊びこめるように工夫をしている。また、分かりやすい言葉でやり取りをするようにしており、子どもが生活や遊びの中で自分なりにさまざまな表現を楽しめるように努めている。				
4	評価項目 4			
	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点 (3)	
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当	
	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当	
	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当	
	評価項目 4 の講評			評価項目 4 の講評を入力してください
	運動会・夏まつり・お月見・ハロウィン・クリスマス会などは発達に応じて無理のない内容で楽しめるように行っている。行事の時は季節感や日本の伝統文化を取り入れ、絵本やペープサートなどを使って、日々遊びの中から興味を持てるようにしている。また、毎月、誕生会を行っているが、その月に誕生日の子どもがいない場合は「おたのしみ会」と代えて楽しめるようにしている。運動会は近隣の公園で保護者の協力を得ながら行った。			
5	評価項目 5			
	保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点 (2)	
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当	
	評価項目 5 の講評			評価項目 5 の講評を入力してください
	延長保育は少人数なので決められた部屋だけではなく自由に部屋を選択して遊べるようにしており、興味・関心を持てるように工夫したおもちゃを提供している。昼間の散歩と重ならないコースへ夕散歩に行くこともあり、変化を持たせ楽しく過ごせるよう配慮している。保護者に伝えることがある場合は、なるべく担任が対応できるように努めている。			

6	評価項目 6		
	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点 (4)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
評価項目 6 の講評			評価項目 6 の講評を入力してください
業務委託先の献立を元に栄養士が作成をしている。アレルギー食や宗教による食事は除去食や代替食で対応している。保護者アンケートでも食事や手作りおやつは好評であった。食育年間計画に基づき、行事食やゴーヤの植え付け、スイカ割りなど、毎月、担当者が季節に合わせて食に関心が持てるような取り組みを行っている。			
7	評価項目 7		
	子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点 (3)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
	評価項目 7 の講評		
子ども一人ひとりの発育に応じて体を動かす遊びや活動の挑戦を見守り、けがを防止できるように援助している。皮膚疾患などがある場合は、医師の登園許可証とともに、園発行の与薬依頼書に記入してもらっている。子どもの健康維持に向け、特記事項があればその都度園だよりや保健だよりで知らせている。健康管理については入園案内の冊子でも詳細に説明しており、家庭と保育園の生活を通して規則正しい生活リズムを作るために保護者と連携を図っている。乳幼児突然死症候群では「睡眠チェック表」で予防をしている。			
8	評価項目 8		
	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点 (5)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目 8 の講評			評価項目 8 の講評を入力してください
クラス懇談会、運動会、夏祭り、クリスマス会などの行事で保護者同士の交流を深める機会を設けている。保護者と職員がお互いに理解し合えるように登降園時はできる限り担任が対応している。また、保育参観や一日3組が保育参加できる機会をつくり、実際の保育活動を見て子どもの成長を見たり情報交換ができるようにしている。発達や育児などについては連絡帳、個人面談、保育参観などを通して家庭での子どもの生活の様子を聞き、共有して相談や支援を行っている。			

9	評価項目 9		
	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点 (2)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目 9 の講評		評価項目 9 の講評を入力してください	
日常的に地域の児童館で遊んだり、図書館へ本を借りに行く等している。また、今年度、近くの公園で運動会を行い、家族などの他にも地域に園を知ってもらうきっかけのひとつにもなった。避難所が小学校に指定されていることから、実際に小学校への避難訓練および保護者への引渡し訓練も行っている。地域との交流については、公園での運動会に参加呼びかけなどはしているが、今後さらなる工夫が期待される。			

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係が深まるよう取り組んでいる	
内容①	クラス懇談会、運動会、夏祭り、クリスマス会などの行事で保護者同士の交流を深める機会を設けている。保護者と職員がお互いに理解し合えるように登降園時はできる限り担任が対応している。発達や育児などについては連絡帳、個人面談、保育参観などを通して家庭での子どもの生活の様子を把握、共有して相談や支援を行っている。保護者アンケートでも、「職員と話したり相談することができるような信頼関係があるか」の設問に、回答者全員が「はい」と答えている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル②	職員に研修の機会を提供し、一人ひとりの質の向上を支援している	
内容②	会社の研修体制が整備されており、本社研修では年次別研修、歳児別の担当者研修、職種別研修などのほか、キャリアアップに伴うリーダー研修なども予定されている。また、職員個別の研修計画のもと外部研修に職員を派遣するなど、職員に多様な学ぶ機会を提供している。研修受講後はレポートを提出してもらい職員会議などで共有を図るなど、一人ひとりの資質の向上を支援している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	環境改善により子どもの安全対策に取り組んでいる	
内容③	園舎のすぐ前は道路であり、交通量もある。安全に配慮し、建物のオーナーの許可を得て門扉を付けた。また、防犯カメラを設置して不審者対応に備えるなど安全対策を強化し門扉を付けたことで、スペースができプール遊びも行えるようになるなど、副次的な効果も生まれている。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員間の情報共有を密に行い、保護者と連携しながら目指している保育に取り組んでいる
	内容	開設2年目であるが体制を整え園運営に取り組んでいる。アンケートからも職員間の良好な関係性が見て取れ、引継ぎノートや日誌、昼のクラス打ち合わせなどで、子どもの情報共有もスムーズで、園が目指している保育に活かされている。保護者との関係づくりも重視しており、とくに送迎時はコミュニケーションを取ることを心がけている。保護者アンケートでは回答者全員が園に対して満足と答え、評価が高いことがうかがえた。
2	タイトル	子どもの一人ひとりの発達の姿を把握して保育を行っている
	内容	登園時に家庭での様子を聞いたり、連絡帳などで子どもの姿の把握に努めている。発達の過程については日常の保育の中でよく子どもを観察し、健康状態（排便・排泄・体温等）や食事摂取状況、生活や遊びの様子を保育日誌に年齢別・個別的に分かりやすく記録している。また、個別の計画は月末に振り返りをして指導計画を作成している。子ども同士のトラブルはお互いの気持ちを受け止めて双方の気持ちを代弁しながら自分の思いを伝え、相手の思いに気付いたりする経験を重ねられるように援助している。
3	タイトル	地域の環境を活かした活発な園外保育を行っている
	内容	園内での活動に限らず、雨の日以外はなるべく散歩に出かけるようにしており、いくつかの散歩コースを設け年齢や月齢等に合わせて園外保育を行っている。評価者が散歩を見学した際は、公園の池の鯉を見たり、走ったり、電車を見に行く等、身近なものや季節の変化などに興味や関心を持つように地域の環境を活かして保育する様子を見ることができた。電車を見に行きたいという子どもの希望で散歩に行くこともあり、散歩が子どもの楽しみの一つにもなっている。また、3歳からの次のステップを見越して、足腰を強くするという意図も持って行われている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者が行事に参加しやすいよう日程の配慮に期待したい
	内容	運動会、おたのしみ会、夏祭りなどの行事は平日に行うことが多い。保護者アンケートでは、行事の日程が平日に多くあり、仕事の調整がつきにくいため土曜日・日曜日の方が参加しやすいとの意見があった。保護者が全員参加できる日程はなかなか難しいところではあるが、検討の余地があると思われる。
2	タイトル	地域に密着した保育園となるよう、地域とのさらなる交流が望まれる
	内容	児童館や図書館へ行ったり公園で運動会をするなど、地域資源を活用した保育は行われているものの、地域との交流の機会は少ない状況である。子どもが職員以外の人と交流する機会を設けるなど、園の目指している「地域に密着した保育園」の実現に向けて、地域とのさらなる交流を図るよう期待したい。
3	タイトル	園の事業計画を策定し、職員参画のもと取り組むことを期待したい
	内容	園の計画としては「全体的な計画」のほか、研修や行事、避難訓練などの年間計画が策定されている。また、年度初めには役割分担を決めており、担当や係が中心になり業務を推進している。なお、目指していることの実現に向け、中長期の計画や園として単年度の事業計画を策定し、全職員で取り組むことも検討されたい。